

令和3年9月14日

各大学長  
各大学理学部長  
各大学理工学部長 殿  
各大学農学部長  
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長  
佐藤 裕之  
(公印省略)

自然科学系 農学・生命科学領域（作物バイオテクノロジー分野，農学生命科学部）教員公募要項

1. 募集職種・人員 助教 1名
2. 任 期 任期なし
3. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域  
(専任担当組織：農学生命科学部 食料資源学科)
4. 専 門 分 野 作物バイオテクノロジー分野
5. 担 当 科 目 農学生命科学部：  
〔専任担当科目〕作物生理学，専門英語，食料資源学演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究  
〔分担科目〕食料資源学概論，食料資源学専門実験，生物学の基礎B，バイオテクノロジー実験，海外研修入門など  
大学院農学生命科学研究科：  
〔専任担当科目〕作物育種科学，特別研究Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ  
〔分担科目〕農学生命科学特論Ⅱなど  
教養教育科目：  
スタディスキル導入科目，自然・科学科目群など
6. 採用予定時期 令和4年4月1日
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用になります。  
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有し，研究および教育上の優れた能力を有すること。または，赴任時まで博士の学位を取得出来る見込みがあること。
9. 応 募 書 類 (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）  
なお，出産・育児や介護等にとまなう研究中断期間がある場合には，中断の期間を履歴書内に記載してください。

- (2) 研究業績目録（業績の区分，記載方法については，農学生命科学部ホームページを参照してください）
- (3) 研究業績目録に記載された著書，原著論文，総説のうち主要なもの10編以内の別刷又はコピー
- (4) (3)のうちの5編以内について，各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
- (5) 教育業績書
- (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
- (7) 学会・社会における活動状況の説明書  
(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
- (8) 従前の研究活動の特徴を述べたもの（2,000字以内）
- (9) 今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの（2,000字以内）
- (10) 応募者に関する参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先  
(氏名，所属，役職，連絡先所在地，電話番号，E-mail アドレス)

※必要書類中（1），（2），（5），（6）は所定の様式に記載してください。

様式は，農学生命科学部のホームページからダウンロードしてください。書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

※Web 応募の場合，全体を zip 形式で圧縮して JREC-IN Portal の WEB 応募機能から提出してください。

10. 応 募 期 限 令和3年11月15日（月）（書類必着）期限を過ぎた応募は受け付けません。

11. 選 考 方 法 (1) 書類選考  
(2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）  
(3) 候補者に対する面接  
※(2)(3)については，オンラインで実施することがあります。詳細は別途通知します。

12. 書 類 提 出 先 (1) 郵送の場合  
〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地  
弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）宛  
※封筒に「教員応募書類（作物バイオテクノロジー分野助教）在中」と朱書きし，簡易書留，レターパック，EMS，その他法令で認められる送付方法により，送付記録の残る方法で送付してください。  
(2) Web 応募の場合  
JREC-IN Portal Web 応募 (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)

13. 問 い 合 わ せ 先 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地  
弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）  
Tel：(0172)39-3751 E-mail：jm2745@hirosaki-u.ac.jp

#### 14. そ の 他

- (1) 食料資源学科には、教育コースとして食料バイオテクノロジーコース、食品科学コース及び食料生産環境コースの3コースがあります。今回の公募は、食料バイオテクノロジーコースの教員補充に伴うものです。
- (2) 食料資源学科は、バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良、食品の機能性評価や食の安全性に関わる技術の開発、環境に調和した食料資源の生産に関わる技術の開発についての教育研究を行っています。
- (3) 今回の公募では、作物を対象とした個体・細胞レベルの生理機能に関する研究経験を有し、本学着任後も当該分野の研究を継続して行える方を募集します。特に、バイオテクノロジー技術を駆使して作物新品種の開発を進められ、また、研究を通して得られた知識を生物学、農学及び地域社会に還元できる人材の育成に学科教員と協力して取り組める方、大学院における専門科目の授業を英語でできる方を望みます。
- (4) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (5) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (6) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。  
(ホームページのURL <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
- (7) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
- (8) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は、所属が「自然科学系 農学・生命科学領域」の他に、教員養成部門に所属することになります。
- (9) 応募書類により取得する個人情報、本公募による作物バイオテクノロジー分野助教候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上